

減災と 狭あい道路の 解消について

第19回あいち境界シンポジウム

ウイंकあいち 大ホール

名古屋市中村区名駅四丁目4-38 ユニモール地下街5番出口 徒歩2分

JR名古屋駅桜通口からミッドランドスクエア方面 徒歩5分

平成31年1月15日(火) 入場無料

13:45開演(13:15開場)



基調講演 「災害当事者意識ノススメ」

～深く、鮮明に災害を意識し、備える～

名古屋大学減災連携研究センター長・教授

福和 伸夫氏

1957年生まれ、名古屋市出身。名古屋大学教授・減災連携研究センター長、あいち・なごや強靱化共創センター長、工学博士、日本地震工学会会長、中央防災会議作業部会委員、地震調査研究推進本部政策委員長など。1981年3月名古屋大学大学院工学研究科修了。同年大手建設会社入社。1991年名古屋大学に転じ、2012年1月より現職。専門は、建築耐震工学、地震工学、地域防災。早期の耐震化を強く訴え、小泉純一郎政権時代には防災の国民運動作りの原動力となった。研究のかたわら、耐震教材を多数開発し、全国の小・中・高等学校などで「減災講演」を続けている。巨大な建物を実際に揺らすことのできる世界に類をみない研究・展示施設、名古屋大学「減災館」はその結集とも言える。

主催：愛知県土地家屋調査士会

TEL：052-586-1200 FAX：052-586-1222

後援：名古屋法務局

協賛：公益社団法人愛知県公共嘱託登記土地家屋調査士協会

第1部 基調講演

14:00 ~ 15:00

「災害当事者意識ノススメ」～深く、鮮明に災害を意識し、備える～
名古屋大学減災連携研究センター長・教授 福和 伸夫氏

第2部 パネルディスカッション 15:15 ~ 16:40

「狭あい道路解消ノススメ」

コーディネーター：小島篤実氏（愛知県土地家屋調査士会会員）

パネリスト：福和伸夫氏（名古屋大学減災連携研究センター長・教授）

横井利明氏（名古屋市会議員）

鈴木広行氏（岡崎市建築部次長建築部建築指導課長兼務）

藤原光榮氏（兵庫県土地家屋調査士会会員）

「狭あい道路」って、なに？

道路幅が4メートルに満たない狭い道路のことを「狭あい道路」といいます。

「狭あい道路」では、火災発生時に消火活動が遅れて延焼拡大する、救急活動時に緊急車両が進出できず傷病者の搬送に時間がかかる、災害時に塀などが倒れて避難の障害になるなど、生命に関わる大きな問題となっています。

実際に、平成28年12月新潟県糸魚川市大規模火災、平成29年8月築地場外市場の火災、平成30年6月大阪北部地震では、「狭あい道路」に接する建物で火災が発生し、消防車両が火災現場まで進出できないということが起きました。

私たち土地家屋調査士は、みなさまの生命と財産を守るため、「狭あい道路」の解消を喫緊の課題として取り組んでいます。

不動産登記 **無料** 相談会 同時開催！

場所：ウインクあいち 11階 1109室

時間：12:00 ~ 18:00

お気軽にお立ち寄りください



※当日の天候、災害等の状況により、事前の告知なくプログラムを変更する場合がございます。
あらかじめご了承ください。